

こなら楽舎のハレの日

生明祭

地域と共に育む

根ッコの会

日時 二〇一二年十一月二十三日〜二十五日

会場 生田キャンパス学生会館一階 めん処



地域の方と一緒に作り上げる空間。様々な人が集い、お互いを理解し、共有する場を開くことをコンセプトに、手作業しながら【はなしあう】プログラムが満載。

昨年度のリピーターも多く、三日間連続で来場された方、急きょ開かれた『お母さんの折り紙教室』『マタニティ相談』など、来場者同士で輪が広がりました。

昨年ここで作った松ぼっくりの飾りが宝物の女の子は「あれから友達と自然遊びをするようになった」夏のワークショップでウチワづくりをした地域の方は「あの時の団扇評判がいいのよ」と報告に来てくれました。

参加者が先生になったり、親子連れが他のお子さんの面倒をみたり。「ここは昔の銭湯みたいだね」80歳の大先輩の言葉に、笑いが溢れました。



根ッコの会は学生の自主活動の活性化や問題を話し合う、だれでも参加できる場で、こなら楽舎の芯を支えるあり方から名づけられました。自主活動をする団体・個人が集まり、活動報告を兼ねて、地域と共感の時を作ろうと、この企画が生まれました。

展示は「廃品を再利用してつくる」「終了後にゴミにしない」ことを決め、「モノを大切にする・一つ一つに意味を込める・説明ではなく分かち合う」ことで調和しました。

「四季が移ろうように心が成長していく」「それぞれの個性を認め合うこと」が伝わるように、何度も根ッコの会で話し合われました。



自分の活動だけでなく、他の団体のことも知り、来場者に伝え共感しあう。反対意見が出たり、相談を持ちかけられたり。社会問題は難しいことばかり。「いいことを押し付けない」「コミュニケーションの場から逃げない」ことも重要な課題でした。

やさしくらし

【かたちのないものをカタチに】



○思い出の木

思い出を聴く・話す。やさしい気持ちになれるコミュニケーションツールを用意しました。

○写真展

やさしくらしを感じる写真を自由な表現で展示しました。

○エコキャップで遊ぼう

キャップつり、キャップとペットボトルで作った車などリサイクル工作で遊びました。

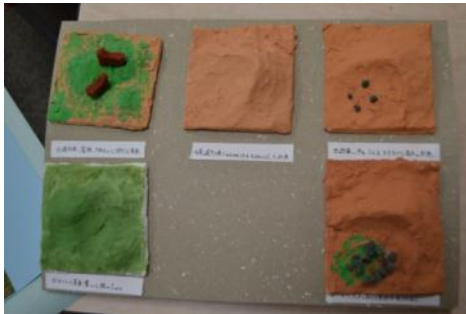


国際支援植林活動

【乾燥地帯と熱帯雨林】



こなら楽舎学生スタッフがやっている海外での環境活動の説明と現地の様子を紹介。今年も4名が報告をしました。なぜ、植林する必要があるのか、今どのような問題があるのか、解決の手法はどうか、活動を掘り下げて見つめました。貧困・孤児・移民・数々の課題に気が付き、今後何をしていくべきか、来場者と意見をかわしました。



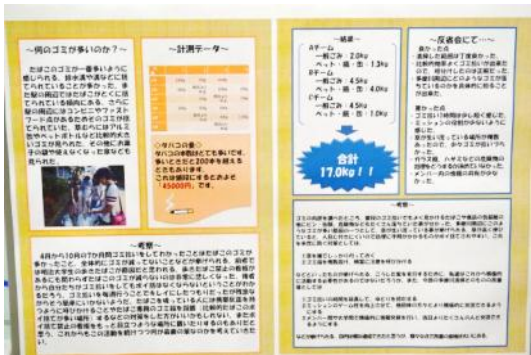
サークルLINKS

【清掃活動と他大学連携】



毎週続けている通学路のごみひろい、多摩川の清掃、世田谷区での地域清掃などを報告。清掃から見えるゴミ問題を考えました。

他大学の学生と結びつくことで、幅広い考え方を得ることが出来ます。



東北の今を考える

【東北の現状と東北の伝統】

○宮城県沿岸の現状

津波被害地域の今の現状を伝える写真展示をしました。

地域を細かく紹介。安全対策や復興の在り方を考え、自分にできることを考えるものになりました。

○東北のテマヒマ

東北地方の伝統文化をまとめました。地域を見直し、手業の奥深さを伝えました。

○飯館村スローライフ

福島県飯館村のまじい宣言を紹介。人間らしい豊かな地域づくりの様子を展示しました。

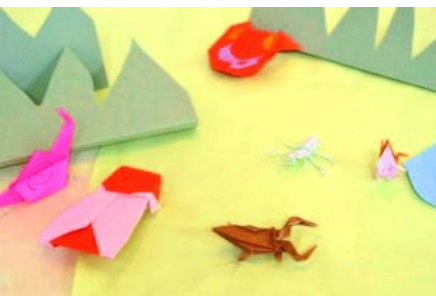


里山班

【身近な自然の魅力を伝える】

○植生管理活動報告

学内の自然は地域の自然でもあります。地域の方々の要望を今後の管理活動に繋げるため、お話を伺いました。



○草木染め作品展示
管理作業ででた植物で染めました。家でも簡単にできる作り方を展示し、自然を暮らしに取り入れる豊かさを紹介しました。

○生態展示

捨てられて増えているアメリカザリガニや、お祭りの後捨てられていた金魚を展示。外来種問題や人為的な環境の影響を伝えました。里山班が整備している小川のプラナリアとキャンパスにいる昆虫の翅などを顕微鏡でのぞきました。



○キャンパスの紅葉

紅葉に彩られたキャンパスを紹介する地図や葉っぱを知る遊びを用意しました。

○お年玉袋づくり

学内で出た古紙を使って、ぼち袋を作りました。葉を擦り出したり、切り紙を貼ったりしながら植物を覚えめました。

○森をつくろう

折り紙で生き物や植物を作りながら生物多様性について話をしました。

○野草生け花

雑草と呼ばれる植物に興味を感じる生け花を要所に配置しました。



○ドングリをまわそう

色々なドングリを使って、コマを作りながら、自然の循環を伝えました。

○枝のキーホルダー

木のぬくもりを感じ、木工品を作る楽しさを味わいました。木の特徴を紹介し、間伐材の利用法を考えました。

○縁起物

カラスウリの種は縁起物として喜ばれています。昔の知恵や暖かさを分け合うお土産にしてみました。